



高校合格体験記



東京
都・道・府・県

国・都・道・府
県・市・私
立
立川
推薦入試
(前期入試) 一般入試
(後期入試)

高校合格
先輩 (男・女)

高校入試対策について

1. 志望校の決定は 小学・**中学** 3年 11月ごろ

中学での憧れの先輩が進学したことで中1の終わり頃から目指しましたが、実力が追いつき、両親や先生の了承のみに確定できたのは、3年の11月でした。

2. 受験勉強を始めた時期は中学 3年 9月ごろ

委員会の任期が終了し、過去問や高校入試突破シリーズなどを本気で繰り返し取り組んだのは9月からです。しかし、受験は普段の勉強や生活の上にあつたものであり、いつ始めたということはないと思っています。

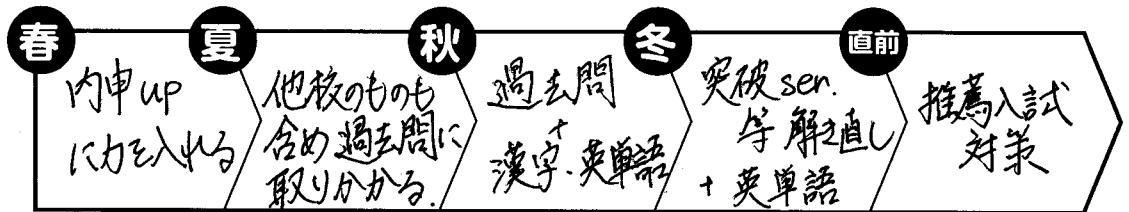
3. 入試直前期の学習・生活について

定期テスト攻略ワーク、高校入試突破シリーズ過去問をできるまで繰り返し解き直していました。できなかったものは、裏紙にまとめ何度も見返しました。その成果もあり、直前の模擬テストでは余裕を持ってS判定を取ることができました。

4. 入試当日について

場を楽しみながら受けることができたと思います。新面接や集団討論では、笑顔を大切に落ち着いて発言することを心掛けました。しかし、足がガクガク震え、なかなか止まりませんでした…(笑)。

5. 1年間の学習の流れ



普段の学習について

1. 学校の予習・復習などについて

添削は、あたり前ですが期限までに提出することに心掛けました。新学校は、お外テスト等では、満点を取れるように、受験のときに分かるようなものの復習、そして更に発展した学習をするためには、普段の取り組みがとても重要なことを知りました。

2. 定期テスト対策について

覚えるものは完璧に暗記、新学校のワークは、2,3回繰り返し解きました。苦手分野等は、定期テスト攻略ワークが大活躍でした。学校の先生が出題するテストなので、まずは学校で習ったことをしっかり修得することが大切だと思います。

3. 両立について

部活(生徒会本部)習い事を(スミングスワム)部活ではありませんが、生徒会を毎日の務にやっていた。両立ということはありません。ただ目標に向かってがんばらに突き進んでいく感覚だったかと思えます。
部活は水泳部でした。

4. Z会以外の利用について

Z会のみ・塾・家庭教師・ほかの通信教育・その他塾併用型でした。
しかし、定期テスト対策はZ会のもの+学校のものでやっていました。

苦手・得意について

1. 苦手について

苦手科目(理科) 分野(計算)

克服法:

ひたすら練習を重ねました。
コツコツと...
少しずつできるようになりました。

2. 得意について

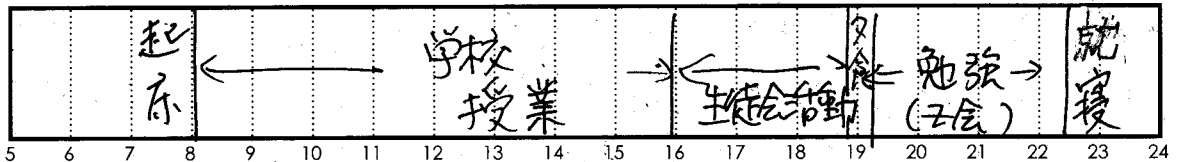
得意科目(国語) 分野(読解)

得意の伸ばし方:

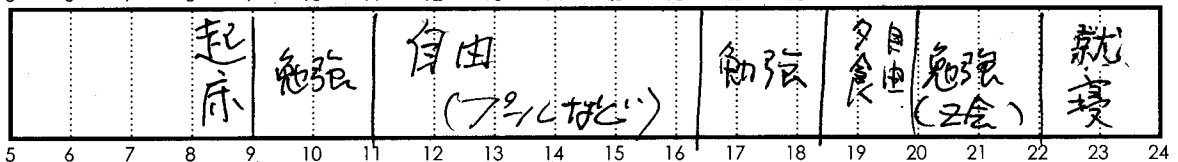
たくさん文章に触れる!! 本読む。

1日のスケジュールについて

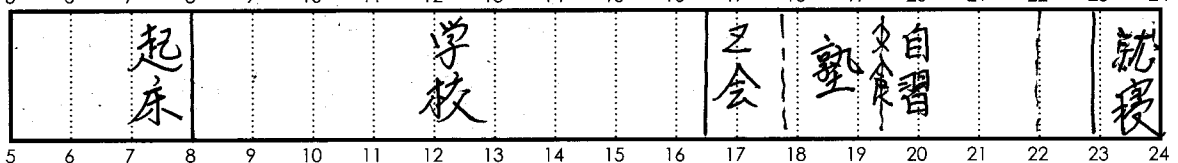
1. 学校が通常通りある時期の平日のスケジュール



2. 学校が通常通りある時期の休日のスケジュール



3. 受験直前期の平日のスケジュール



受験を終えて

1. 受験を終えての気持ち

受かった、たせん、アツアツ、という気持ち。
これからは、立川高校生徒としての誇りを胸に自主・自律の精神を持って前向きに努力し続けます。

2. 後輩へのメッセージ

受験勉強は、1人から努力、とにかく努力、いいから努力、やめたから努力
本番は、場を楽に、面接や討論は笑顔で!!
そして絶対受かる!!
頑張れ!!